

科目名	舞踊Ⅲ							年度	2025
英語科目名	Japanese Dance Ⅲ							学期	前期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員	花柳寿芽月		教員の実務経験			実務経験の職種			

【科目の目的】

礼儀作法をきちんとし、礼に始まり礼に終わるという武道からくる日本の精神を知る。浴衣の着付けを丁寧にやる。扇子の扱い方、見立て（扇子で具体的な色々なものを表現する）を学び、舞踊の中にもそれを活かす。男踊りと女踊りの両方を稽古する。その際に自分が踊るだけでなく、学生同士お互いの踊りと注意された箇所を修正する様子を見て、切磋琢磨していく。歌舞伎舞踊の独特の科白（せりふ）も勉強する。

【科目の概要】

日本舞踊を通じて品や礼節を身につける。

【到達目標】

全身を使って、立役・女形の両方を稽古することで、それぞれの表現方法の違いを見出し、色々な役柄に対応する力を身につける。浴衣の着付けが美しくそして早くできるようになり、浴衣で色々な動作をしても着崩れにくい方法を習得し、また着崩れてもすぐに直せるようにする。日本の伝統的な舞踊を学び、そこから知識と教養を高める。

【授業の注意点】

この授業独特の挨拶の仕方、出席を取るときの約束、荷物の置き方、休憩中の過ごし方、アクセサリ等を外す、などの設定されたルールをきちんと守ることを励行する。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授業計画は浴衣の仕立て上がりや扇子の完成時期により、一部流動的になる。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	すべての基本動作を正確に、しっかりとした姿勢で表現できる。	ほぼ完璧に基本動作を習得しており、若干の改善点がある。	基本動作を習得しているが、時々姿勢や動きが不安定。	基本動作に課題が見られ、改善の余地が多い。	基本動作の習得が不十分で、改善が必要。
到達目標 B	役柄にぴったり合った動きと表情を自然に表現できる。	役柄に合った表現ができ、感情を表現する場面も良い。	役柄に応じた表現をするが、表情や動きに少し不一致が見られる。	役柄に合わせた表現が難しく、表情や動きが単調になりがち。	役柄に合った表現ができておらず、感情や動きが乏しい。
到達目標 C	礼節や品位が動きに自然に表れ、適切に示される。	礼節や品位を意識して踊りに取り入れ、表現できる。	礼節や品位を表現しているが、時々不自然になることがある。	礼節や品位があまり表れておらず、改善の必要性がある。	礼節や品位が全く表れておらず、改善が非常に必要。
到達目標 D	舞踊に対して高い自信を持ち、堂々と演じる。	舞踊に自信を持って取り組み、演技に安定感がある。	舞踊に自信があり、演技には集中しているが時々緊張する。	舞踊に対する自信が不足しており、演技に不安定さが見られる。	舞踊に対する自信がなく、演技が非常に不安定で緊張している。
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い

【教科書】						
レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。						
【参考資料】						
【成績の評価方法・評価基準】						
小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。						
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。						
科目名		舞踊Ⅲ			年度	2025
英語表記		Japanese Dance Ⅲ			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	「踊り解体新書Ⅲ」	琴や尺八をとりいれた現代邦楽の音楽を聴き、感じる。	邦楽器の基礎理解	邦楽器の音色や特徴を理解		
			現代邦楽の鑑賞	現代邦楽の感情やテーマを身体で表現する力を身につける		
			身体表現の練習	音楽と動きの調和を学び、身体表現に生かす		
2	「踊り解体新書Ⅲ」	音楽性から独自性の舞踊表現を探す。	音楽性の分析	舞踊表現を構築		
			舞踊表現を創作	表現スタイルを深める		
			創作した舞踊を発表	柔軟な発想力を身につける		
3	「踊り解体新書Ⅲ」	呼吸の表現（息の詰め、開き）について知る。	呼吸の基礎理解	呼吸と身体表現を連動させる		
			身体表現との連動練習	身体表現の幅を広げる		
			呼吸表現	呼吸の表現（息の詰め、開き）の実践		
4	「踊り解体新書Ⅲ」	呼吸の表現について実践する。	呼吸表現の実践練習	呼吸表現を体得		
			呼吸表現の分析	呼吸表現を高める		
			呼吸表現の実践	呼吸表現を実践し、表現スタイルを確立		
5	「長唄 潮来」	若い娘の踊りを学ぶ。	振り付けの基礎練習	「長唄 潮来」の振り付けを理解		
			情感表現	柔らかさや優雅さを体現		
			踊りの完成	集団での踊りの調和		
6	「長唄 潮来」	役柄の特徴を探す。	役柄の分析	役柄の背景や性格を正確に理解		
			表現方法の研究	感情を踊りに込めた動きを表現		
			感情の動きの実践	役柄に合った身体の使い方を習得		
7	「長唄 潮来」	役柄の特徴の表現に必要な舞踊要素を考える。	舞踊要素の分析	適切な舞踊要素の選択		
			役柄の表現	役柄の特徴に対する表現力を向上		
			舞踊要素の実践	舞踊表現を実践する		
8	「長唄 潮来」	役柄の特徴の表現に挑戦する。	役柄の表現練習	役柄の表現練習の実践		
			舞踊要素の応用	舞踊要素を役柄の表現に応用		
			役柄の特徴の表現	役柄の特徴の表現の実践		
9	「長唄 潮来」	役柄の特徴を踏まえて踊り分ける。	役柄ごとの振り付け練習	役柄の特徴に応じた振り付けを練習		
			動きの分け方の確認	役柄ごとに動きを切り替える		
			振り付けと役柄の表現	振り付けを身に付け、役柄を演じ分ける		
			歌舞伎舞踊における荒事	荒事の踊りの理解		

10	「長唄 雨の五郎」	歌舞伎舞踊の作品から荒事の踊りを学ぶ。	荒事の振り付けの練習	荒事の振り付けの実践
			荒事における感情表現や動作	荒事の踊りの実践
11	「長唄 雨の五郎」	荒事（男踊り）について知る。	荒事（男踊り）の理解	荒事（男踊り）の基本的な動作を理解
			荒事の動作	荒事の動作の体得
			男踊りの感情表現	感情表現を加えた荒事の実践
12	「長唄 雨の五郎」	役柄の特徴の表現に必要な舞踊要素を考える。	舞踊要素の分析	役柄に必要な舞踊要素を分析
			舞踊要素の表現方法	各役柄に求められる動きや表現の理解
			舞踊要素の反映	役柄の特徴を理解し舞踊要素を反映
13	「長唄 雨の五郎」	役柄の特徴の表現に挑戦する。	役柄の特徴分析	役柄の特徴分析を実践
			感情表現を強化す	役柄の特徴を効果的に表現
			演技と舞踊の実践	演技と舞踊を表現
14	「長唄 雨の五郎」	役柄の特徴を踏まえて踊り分ける。	役柄の解釈	役柄の解釈を深める
			役柄毎の踊り分け	役柄毎の踊り分けを表現
			表現方法	役柄の特徴を踏まえての踊り分け
15	「長唄 潮来」、「長唄 雨の五郎」についてまとめ	まとめ	振り返り	「長唄 潮来」と「長唄 雨の五郎」の振り返り
			役柄ごとの表現	役柄ごとの表現の完成
			まとめ	「長唄 潮来」と「長唄 雨の五郎」の舞踊表現のまとめ
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他				
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった				
備考 等				